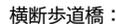
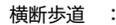


東山横断歩道橋現況

- 所在地：豊平区平岸3条9丁目
- 建設年：1971年
- 利用実態調査結果 (R4.10)：総数171人 (大人157人、子供14人)、乱横断3人
- 横断歩道の位置：西側…130m、東側…60m
- 信号機の種類：西側…押ボタン式、東側…定周期式信号機

凡例
横断歩道橋： 
横断歩道： 



横断歩道橋の撤去状況 (令和6年3月末時点)

平成24年度に「札幌市横断歩道橋のあり方検討委員会」の提言を受け、撤去候補に該当する横断歩道橋を選定し、撤去の提案を行っております。

撤去候補については利用実態調査を行い、その都度検討、見直しを行うこととしており、第1回見直しを平成29年12月に第2回見直しを令和6年6月に行いました。

No.	歩道橋名	所在区	撤去年	撤去理由
1	真駒内オリンピック村歩道橋	南区	H10	地元要望
2	青葉横断歩道橋	厚別区	H16	地元要望
3	白楊横断歩道橋	北区	H17	地元要望
4	美香保横断歩道橋	東区	H17	道路事業
5	創成川横断歩道橋	中央区	H18	道路事業
6	清田横断歩道橋	清田区	H23	地元要望
7	北辰横断歩道橋	北区	H24	地元要望
8	中央図書館前横断歩道橋	中央区	H26	市の提案 地元要望
9	菊水西町歩道橋	白石区	H27	市の提案
10	北光横断歩道橋	東区	H27	地元要望
11	藻岩下歩道橋	南区	H27	市の提案
12	琴似小学校前歩道橋	西区	H28	市の提案
13	宮の沢歩道橋	西区	H28	市の提案
14	北3条東4丁目歩道橋	中央区	H29	市の提案
15	新陽横断歩道橋	北区	H29	市の提案
16	豊水横断歩道橋	中央区	R 1	市の提案
17	中島公園東通横断歩道橋	中央区	R 2	市の提案
18	円山小学校前歩道橋	中央区	R 3	地元要望
19	西2丁目横断歩道橋	中央区	R 4	再開発事業

※着色箇所：市からの撤去提案による

※市の提案：9橋、道路整備：4橋、地元要望：6橋

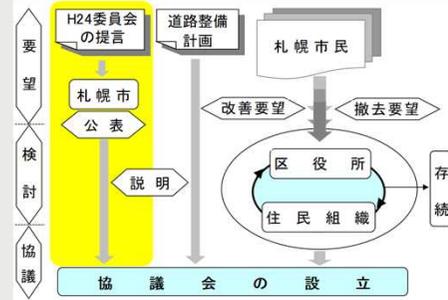
横断歩道橋のほとんどは建設から50年近くが経過し老朽化しております。老朽化へ対応するため、定期点検結果を踏まえた修繕を計画的に進めておりますが、周辺環境の変化に伴い利用者が少ないなど、需要が少なくなった横断歩道橋については、地域に対して撤去の提案を行っております。

横断歩道橋の検討フロー

撤去の提案

協議会を開催する前に横断歩道橋撤去に関する地域の考えや意識を確認するため、意見交換を行います。

横断歩道橋の利用状況や周辺環境、撤去候補と位置付けた理由等を説明したうえで、それぞれの考え方や意見の整理を行い、撤去の提案が認められた場合、協議会を設置します。



横断歩道橋の現状

- 昭和40年代に建設が集中。
 - 当時は歩行者と車両を分離する構造として交通安全上、重要な役割を果たしていた。
 - 近年では周辺環境の変化に伴い**利用者が減少**。
 - 高齢者にとって**不便な構造**。
 - 階段や柱により**歩道の幅が狭い**。
- ⇒現代ではバリアフリーの観点からも改善が必要な施設となっている。

撤去候補の条件

1. 横断歩道橋の利用者が少ない。

- ・児童の利用が少なくなった。
- ・階段の上り下りが困難なため、高齢者の利用が少なくなった。
- ・歩道橋周辺に信号機及び横断歩道が整備された。
- ・歩道橋周辺の乱横断が多い。

日中12時間（7：00～19：00）における利用者が概ね**100人未満**、または、児童の利用が概ね**20人未満**

2. 歩行者への安全性の問題が生じている。

- ・歩道橋の支柱や階段が交差点部に位置していることから、歩行者やドライバーからの視認性が悪く、乱横断や飛び出しなどによる事故を招くおそれがある。

3. 歩道空間が狭隘化している。

- ・歩道橋の支柱や階段により、歩道の有効幅員が狭くなり、通行に支障をきたしている。
- ・高齢者や障がい者等に配慮したバリアフリーな道路空間が、整備されていない。

4. 横断歩道橋に代わる施設がある。

- ・歩道橋の近傍に横断歩道などがあり、歩道橋が撤去されても安全に道路を横断することができる。

東山横断歩道橋の利用状況

調査年月	大人	児童	計	(乱横断)
H16.9	177	36	213	(6)
H23.9	94	22	116	(10)
H25.1	142	28	170	(13)
H28.9	103	19	122	(15)
R4.10	157	14	171	(3)

東山横断歩道橋の撤去提案の理由

1. 児童の**利用が少ない**。また、全体の利用者も少ない。

①児童利用者数

- ・平均利用者数：189名（※1）
- ・令和4年10月調査時：14名（**-175名**）

②全体利用者数

- ・平均利用者数：880名（※1）
- ・令和4年10月調査時：171名（**-709名**）



東山横断歩道橋全景

2. 支柱が交差点部にあり、取付道路からの**視認性が悪い**。

3. 歩道橋の支柱により歩道の有効幅員が狭くなっている。

現況：**1.3m ≤ 2m**（※2）



幅員計測状況写真

4. 直近の交差点に横断歩道が設置されており、歩道橋を撤去しても代替の横断施設として道路横断することができる。

横断歩道の位置 **東側60m、西側130m**

5. 小中学校の校区界に位置し、通学路に指定されていない。

※1：市が管理する横断歩道橋の平均利用者数

※2：車椅子が歩道部で交差する幅（バリアフリー）

東山横断歩道橋撤去による改善点

- 歩行者やドライバーからの見通しが良くなる。
- 歩行者の通行幅を確保できる。
(冬期間においても安全な歩行空間を確保ができる。)
- 通行幅の確保によりお年寄り、障がい者、ベビーカー使用者等の利用にも配慮したバリアフリーな道路空間を整備できる。
- 維持管理に係わるコストが削減できる。
(ロードヒーティング用電気料金、保守点検費、清掃費、塗装塗替え費、ロードヒーティング更新費など)